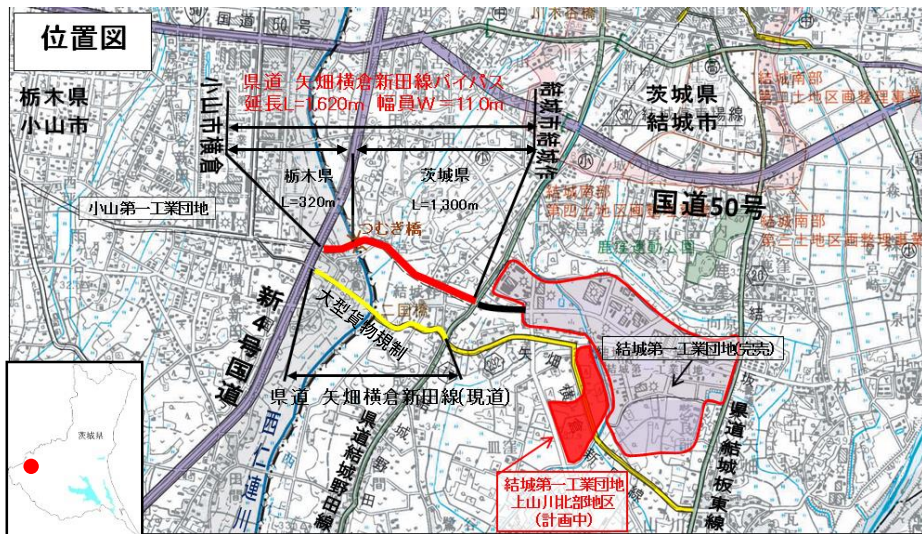


# バイパス整備により新4号国道へのアクセスが向上・地域の発展・安全に寄与 — 県道矢畑横倉新田線バイパスの開通（結城市結城作～栃木県小山市横倉） —



**【課題と事業効果】◆災害に強く、安全で円滑な道路環境に改善◆**

- 現道の幅員が狭いため、大型車は通行規制により迂回していた
- 現道には歩道もなく、歩行者や自転車の利用は危険な状況にあった

↓

- 見通しの良い、2車線(片側歩道)のバイパスを整備
- ・新4号国道へのアクセスが向上し、人の交流、物流の円滑化に寄与
- ・歩行者や通行車両の安全性と災害時の通行を確保

**【事業概要】**

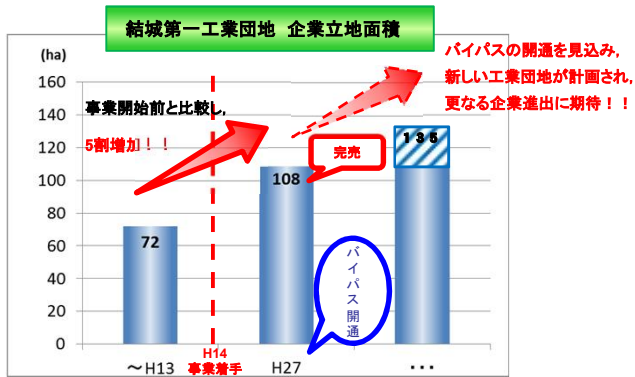
路線名 一般県道 矢畑横倉新田線  
 事業箇所 結城市結城作～栃木県小山市横倉  
 事業期間 平成14年度～平成27年度  
 総事業費 約13億円(茨城県約8億円, 栃木県約5億円)  
 整備延長 1,620m(茨城県1,300m, 栃木県320m)  
 幅員 11.0m/6.5m



## 地域や暮らしへの効果

### 開通の効果を期待し、企業が続々と立地！

結城第一工業団地では、バイパス事業開始後、企業立地面積が5割増加しました。また、開通後は、同工業団地のアクセス性が向上したことで、企業の高まるニーズに応じて新たな工業団地(上山川北部地区)が計画されるなど、地域の雇用・発展に大きく貢献しています。



### バイパス開通後、幹線道路へのアクセス性が大きく向上！

これまでは結城第一工業団地へ行くには迂回していましたが、バイパスを利用することで通行時間が大幅に短縮されました。

工業団地に入出りする大型トラック運転手 50代 男性



バイパスの開通により、普通車の通行が円滑になったことに加え、現道では通行が規制されている大型車もバイパスが通行できるようになり、幹線道路へのアクセス性が大きく向上しました。

### 災害時でも安全な道路



平成27年台風第18号の豪雨災害時、一級河川西仁連川の増水により、現道が冠水して通行不能になりましたが、バイパスは通常通り通行ができ、幹線道路へのアクセス機能を果たしました。